



購読料 年8,000円
送料共 但し、会員
は会費に含まれる

発行所

京都府保険医協会
〒604-8162 京都市中京区烏丸通
蛸薬師上ル七観音町637 第41長栄
カーニープレイス四條烏丸6階
電話 (075) 212-8877
FAX (075) 212-0707
編集発行人 久保 佐世

新春特集

特集Ⅰ 社会保障基本法シンポ
特集Ⅱ 丹後逢刻
会員投稿
(2・3面)
(4・6面)
(6面)

ご用命はアミスまで

- ◆医師賠償責任保険
 - ◆休業補償制度 (所得補償、傷害疾病保険)
 - ◆積立傷害保険
 - ◆自動車保険・火災保険
- 上記事業は(有)アミスが
取扱っています。
☎075-212-0303



油絵30号

丹後半島「屏風岩」 吉岡 均二 (与謝)

鳥取海岸から丹後半島経ヶ岬にかけての海あり、その条件にマッチしたのが丹後半島岸がジオパークに指定された。以前から好きな海岸であるが、好きな理由は地理学的な意味でなく、単に絵のモチーフとしてである。描きたい場所は他にもあるが高齢の身とすれば、まず近場であることが必要で

謹賀新年 2012年元旦

本年もよろしく願いたします 京都府保険医協会 理事者・事務局一同



理事長 関 浩

である。日本の「国民皆保険制度」は米国の「障壁」そのもので、米通商代表報告書では「厳格な規制によって、医療サービス市場へ外国アクセスが制限されている」ときめつけている。政府はTPPに加盟しても公的医療保険制度は守れるという。しかし、日本の制度には、すでに保険外併用療養費という混合診療の仕組みが組み込まれている。規制の完全撤廃により参入する外国民間保険会社は混合診療の全面解禁をも要求するであろう。これを許せば「平等」という日本の医療の理念は「格差」という現実に取り替わられてしまう。

京都府保険医協会会員の皆様、平成24年新年明けましておめでとうございます。東日本大震災の復興は道半ばではあるが、第3次補正予算に盛り込まれた阪神・淡路大震災の3倍の復興事業による景気押し上げに期待する。一方、福島原発では1号機から3号機において原子炉を突き破り、格納容器の底を浸食した核燃料の除去が迫られる極めて困難な状況にある。人知が無限でない限り、再び「想定外の事態」が起こらないという保証はない。何よりも電力の原子力依存度を減らし、再生可能エネルギーの開発に全力を尽くすべきである。

医療・社会保障制度の後退許さない運動を

では、もしも国民皆保険制度を強化する政策をとった場合、保険会社が政府に対し、損害賠償請求訴訟を起こすとさえ可能になっているのだ。混合診療の拡大とともに、国内外の利潤追求の病院経営が進むことになり、国民皆保険制度の空洞化がもたらされる。社会保障の中核を破壊し国民に大きな打撃を与えるTPP参加は反対である。政権交代の原動力になった民主党マニフェストは、「社会保障の抜本改革」「消費税率の維持」だったはずである。だが「社会保障と税の一体改革」での社会保障改革は現行制度の延長線に過ぎず、かつ5%消費増税が明記された。現在のデフレ下での消費税増税は、景気低迷をさらに深刻化させ、税収全体の落ち込みを招く冷水・猛毒なのである。

「社会保障・税の一体改革」の目的は、法人税や所得税などの財源を、財政再建に振り向けるために、社会保障に対する主財源を消費税に置き換えようとするもの。また、消費税の使途を社会保障に限定する「目的税」化は、社会保障費に消費税以外の財源を投入しないという危険なものである。財源がないからと社会保障費を増やさないという意見がある。しかし、財源問題でなぜ社会保障が狭められなければならないのか？ いまこそ社会保障、医療制度保障をしっかりとした制度にし、将来の不安を軽減するべき。今年、介護・医療の同時改定においては、医療・社会保障制度の後退を許さない運動が必要である。

協会は保険医として日本の医療の担い手である会員のために日常における保険診療、経営、医療安全、指導・監査、文化活動、日本の医療政策への提言など通じて会員の健全な医療に資するべく毎日の活動を続けていく所存である。

特集I 講演録

今なぜ、社会保障基本法・憲章か

10月15日に開催したシンポジウム「今なぜ、社会保障基本法・憲章か」では、社会保障各分野の報告で困難を明らかにするとともに、それを打開する構想としての社会保障基本法・憲章について二つの講演が行われた。本号で、その野下、渡辺両氏による講演概要を掲載する。

野田政権が誕生して自民党にも戻れず政治の未来に絶望しています。それだけに、構造改革に終止符を打つ福祉国家型政治の方向を示すことが求められています。福祉国家型政治は、自公政権同様の中心をなす社会保障の原則、政権となりました。国民は体系について考えてみたいと思えます。

構造改革政治に對抗する 新たな福祉国家構想の輪郭



渡辺 治氏 一橋大学名誉教授・「福祉国家と基本法研究会」幹事・福祉国家構想研究会代表メンバー

体系的な社会保障の構想、それを保障する税財政構想も含まれた福祉国家型構想が不可欠だったということが明らかになりました。これが、福祉国家型対抗構想が緊急性を帯びている第一の理由です。

投資を行って雇用を支え、企業を誘致したからです。これを右から変えたのが構造改革です。大企業の負担を軽減するためには、財政を拡大する公共事業投資などムダだということで、小泉政権が行った地方構造改革の下で、公共事業は切られ、雇用は縮小していきま

た。そこに地震と津波が襲ったのです。ですから大震災、原発事故からの本意の意味での復旧・復興は、構造改革でぼろぼろになった公務員、社会保障制度を復活させねばなりません。さらに根本的には、原発に依存しない、あるいは公共事業投資に依存しない地場産業や農業を復活させることです。

ここから私たちは二つのことを学べます。一つは、ここに社会保障のあるべき姿が現れているという点です。厚労省は震災被害に驚いてやっただけですが、本来、保険料は応能負担でなければならぬし、窓口負担はゼロにして安心して医療にかかれます。ところが厚労省は構造改革の下

で、保険料を支払えない人、資格証明書を出したり、窓口負担を上げたり、一体改革では、受診時定額負担をどうとしたいです。この方向が誤りであることが明らかになりました。学ぶべき第二の点は、これも、国の財政出動、財政保障の重要性を示しました。大震災の復旧・復興は大企業本位、ゼネコン本位で進められた阪神淡路大震災のときよりも、遅れていました。大企業負担に直結する財政出動を渋る財界の圧力で菅政権が、財政出動をサボったからです。がれきの処理でも仮設住宅の建設でもそうです。国が財政出動を回避し、構造改革の赤字に苦しむ地方自治体に丸投げしたことが、復旧の遅れを引き起こしています。

検討会議では、もともと消費税引き上げの口実として「一体改革」が持ち出されたが、3・11の後は、さらに変質したのです。大震災と原発事故の被害からの復興にあたって大量の財源が必要になり、地方財政にも消費税が上がり、社会保障もさらに切ることにはできないので、消費税を大々的に引き上げるという構想で一定の「積極性」がありました。ところが、菅政権の集中

1 今なぜ福祉国家型対抗構想が必要か——四つの理由

民主党政権という国民的経緯

はじめに、福祉国家型対抗構想が切実に求められている四つの理由から検討しましょう。第一の理由は、私たちが民主党政権を経験したことです。

民主党はなぜ構造改革政治に逆戻りしてしまったのか。構造改革政治を止める体系的な国家のあり方を構想できなかったからです。民主党はなぜ構造改革政治に逆戻りしてしまったのか。構造改革政治を止める体系的な国家のあり方を構想できなかったからです。

2年間の民主党政権という国民的経緯は私たちに一つの教訓を与えました。一つは、政治を変えれば福祉は変わる、社会保障は変わるということを明らかにしたことです。自民政権が

3・11後、民主党政権はなぜあれほど深刻化したのでしょうか。津波の被害がこれほどまでに深刻化したのは、復旧・復興がこれだけ遅れていること、背景には、過去の自民の大企業本位、利益誘導型の政治があり、そして、これを右から壊した構造改革の政治の影響を考えると、わけにはいきません。

東北地方は、高度成長時代から地場産業や農業の保護を打ち切られて衰退の方向に進んでいました。けれども地方はただちに衰退したわけではありませんが、自民が自分たちの支持基盤を守るために、ダムだ道路だ新幹線だといって、湯水のように公共事業

今年6月に政府の「社会保障改革に関する集中検討会議」は「社会保障と税の一体改革」をまとめたもので、この社会保障分野でも同じことがいえます。そもそも社会保障と税の一体改革とは何か。一体改革は、小泉構造改革政治の被害が深刻化しそれを弥縫しないと、構造改革を前に

今、保育でも介護でも障害者福祉でも、どの分野でも同じ攻撃、すなわち現物給付原則を解体し、公的責任を放棄しようという攻撃がかかれています。相手は戦略的に同じ攻撃をかけてきているのです。ところが、攻撃を受けている方は、頑張っている

今、保育でも介護でも障害者福祉でも、どの分野でも同じ攻撃、すなわち現物給付原則を解体し、公的責任を放棄しようという攻撃がかかれています。相手は戦略的に同じ攻撃をかけてきているのです。ところが、攻撃を受けている方は、頑張っている

社会保障運動のたごっぼ化

福祉国家型社会保障構想を必要とする四つの理由がかけられています。相手は戦略的に同じ攻撃をかけてきているのです。ところが、攻撃を受けている方は、頑張っている

今、保育でも介護でも障害者福祉でも、どの分野でも同じ攻撃、すなわち現物給付原則を解体し、公的責任を放棄しようという攻撃がかかれています。相手は戦略的に同じ攻撃をかけてきているのです。ところが、攻撃を受けている方は、頑張っている

今、保育でも介護でも障害者福祉でも、どの分野でも同じ攻撃、すなわち現物給付原則を解体し、公的責任を放棄しようという攻撃がかかれています。相手は戦略的に同じ攻撃をかけてきているのです。ところが、攻撃を受けている方は、頑張っている

今、保育でも介護でも障害者福祉でも、どの分野でも同じ攻撃、すなわち現物給付原則を解体し、公的責任を放棄しようという攻撃がかかれています。相手は戦略的に同じ攻撃をかけてきているのです。ところが、攻撃を受けている方は、頑張っている

今、保育でも介護でも障害者福祉でも、どの分野でも同じ攻撃、すなわち現物給付原則を解体し、公的責任を放棄しようという攻撃がかかれています。相手は戦略的に同じ攻撃をかけてきているのです。ところが、攻撃を受けている方は、頑張っている

今、保育でも介護でも障害者福祉でも、どの分野でも同じ攻撃、すなわち現物給付原則を解体し、公的責任を放棄しようという攻撃がかかれています。相手は戦略的に同じ攻撃をかけてきているのです。ところが、攻撃を受けている方は、頑張っている

今、保育でも介護でも障害者福祉でも、どの分野でも同じ攻撃、すなわち現物給付原則を解体し、公的責任を放棄しようという攻撃がかかれています。相手は戦略的に同じ攻撃をかけてきているのです。ところが、攻撃を受けている方は、頑張っている

今、保育でも介護でも障害者福祉でも、どの分野でも同じ攻撃、すなわち現物給付原則を解体し、公的責任を放棄しようという攻撃がかかれています。相手は戦略的に同じ攻撃をかけてきているのです。ところが、攻撃を受けている方は、頑張っている

2 福祉国家の対抗構想はどんな柱を持つべきか——新たな福祉国家の六つの柱

では、構造改革に対抗する福祉国家型構想はどんなものかを検討しましょう。もとの柱は、財政の問題、消費税率を上げなくともよい安定財源の確保がまず言いたいのは、対案は、個々の領域に止まることはできない。国家的レベルの構想でなければならぬという点です。そこでは少なくとも六つの柱をたねばなりません。

第1の柱は、憲法25条が私たちに保障している雇用保障と社会保障の体系です。雇用保障と社会保障は人間らしくいかにするたのクルマの両輪です。安定した雇用は消費を拡大し経済を成長させます。雇用が壊れている状況では、社会保障費はどんどん増大していきま。いくら財源があっても足りなくなりま。逆に自分のやりたい仕事、食べられる仕事を見つけない、雇用保険や失業時保障など社会保障が完備していないことが必要です。この第1の柱はまた後でくわしく触れます。

3 社会保障の対案はなぜ必要か、どんな輪郭をもつべきか

なぜ憲章、基本法が必要なのか

では福祉国家型対抗構想の中心である社会保障の原則と体系はどんなものでしょうか。私たちは、それを社会保障憲章と基本法という形でまとめたい。なぜ憲章と基本法という形でまとめたので、その論理的根拠は

雇用(の充実を図らなければなりません。第3の柱は大企業本位でない、地域と福祉や地場産業中心の経済政策です。第4の柱は、脱原発、原発にかわるエネルギー政策です。第5の柱は、福祉国家型の真の地方自治と民主的な国家構想です。そして最後に第6の柱は、日米安保体制のない日本の安全とアジアの平和です。

これらの国家レベルの構想の中で、社会保障の対抗構想を具体化していく必要があると思います。

基本法の内容その1

25条に沿った「社会保障の定義」

では、社会保障基本法で福祉国家型社会保障としてどんな社会保障の輪郭、原則を提示しているのか、第1に基本法では、憲法25条が考える社会保障とは何かを規定しよう。第3条。社会保障とは何か、どのような領域のことか、このことについて、私たちが構造改革路線の間では激しい対立があります。私たちの定義は「社会保障とは、個人間らしくいかに公的に保障する制度である」ということです。一方、政府の集

基本法の内容その2

あるべき給付の原則

基本法の内容の第2は、給付にかかわる原則を定める点です。たとえば、基本法8条では、普遍主義的給付の原則をうたっています。これは日本に住むすべての人は、所得のいかにかかわらず病気になる治療を受ける権利が保障されています。負担は能力に応じて行うべしというのが憲法の社会保障の原則です。こうした考えを否定し

基本法の内容その3

あるべき負担の原則

負担にかかわる社会保障原則についても基本法はくつかの条文をもっています。たとえば、15条と14条でうたっている企業の社会的責務です。企業側はこういいます。日本の経済は大企業によって成り立っている。したがって、私たちが

裁判闘争の重要性と限界

生活保護など社会保障に関する裁判をしていて、痛感するのは、その裁判官が良心の塊のような人だとしても、目の前に立つ生存権を奪われた人にとって救いのある判決ができるわけではないということです。車いすの人が駅にエレベーターを作ってくれと裁判を起したところ、車いすの人が「駅にエレベーターを

うか。「非常に気の毒だ。決の結論でした。法律の根拠がない。裁量の範囲内。だから認めない。これが生存権侵害からの救済を求めて訴えた原告に對する司法の判断なので、もう一つより大きな壁があります。私たちは個々の人たちの人権の回復を司法の場で求めてきた。全国で今行われている生活保護裁判は30

を越えています。これだけの全国の原告の切実な訴えがあっても、悲しいかな、制度は変わりません。こうした個々の裁判で新しい制度をつくっていくことができないのか。救済ではなく予防なのです。

個々の原告の裁判における訴えと、社会保障憲章、憲法25条の具体化として社会保障基本法という両者を結びつけるものはないか。それは、原告の訴えが、今の政治や法律や福祉の運用のなかでどういふ歪みとなって現れているのか。あるいは社会保障のどの部分が不備が原告の叫びとなって現れているのか明確にすることができない。これを抜きにして裁判所に持ち出さなくてはならない。政治や国を動かす意味です。

おそろく3月11日もこれから何十年経っても国民の多く、そして世界の人の多く、そして記憶に残る日となると思います。8月15日の日を境に私たちは日本国憲法を作り、以後今日に至るまで侵略の兵を外国に送り、戦争に巻き込まれずに歩んできました。

竹下 義樹氏

弁護士・日弁連貧困問題対策本部部長 代弁・全国生活保護裁判連絡会事務局長



「憲法25条が考える社会保障とは何か、どのような領域のことか、このことについて、私たちが構造改革路線の間では激しい対立があります。私たちの定義は「社会保障とは、個人間らしくいかに公的に保障する制度である」ということです。一方、政府の集

「憲法25条が考える社会保障とは何か、どのような領域のことか、このことについて、私たちが構造改革路線の間では激しい対立があります。私たちの定義は「社会保障とは、個人間らしくいかに公的に保障する制度である」ということです。一方、政府の集

「憲法25条が考える社会保障とは何か、どのような領域のことか、このことについて、私たちが構造改革路線の間では激しい対立があります。私たちの定義は「社会保障とは、個人間らしくいかに公的に保障する制度である」ということです。一方、政府の集

「憲法25条が考える社会保障とは何か、どのような領域のことか、このことについて、私たちが構造改革路線の間では激しい対立があります。私たちの定義は「社会保障とは、個人間らしくいかに公的に保障する制度である」ということです。一方、政府の集

特集II 地域紹介5

丹後逢刻



「飛龍観」天の橋立

地域紹介シリーズの第5回目は「丹後」。北丹医師会の谷口謙氏(86)・笹野満氏(69)と、謝医師会の吉岡均氏(86)・岩根敏男氏(85)に丹後の地域医療の移り変わりについて語りあっていた。ゲストの丹後観光口コミ大使語り部の会代表・久保善康氏からは丹後の歴史や今後について伺った。

第一部 「丹後王国」の地

久保 丹後観光口コミ大使の久保です。口コミ大使の活動は、「ふるさと丹後」の自慢を、観光客や、地元の子もたちなどに分かり易く伝えていくというのが主な目的です。会の発足から日も浅く、まだまだ満足域には達していませんが、各方面からの期待に応えていくよう頑張っていますのでよろしくお願いしたいと思います。

さて丹後を語るとき、古代丹後を抜きには通れません。その昔、丹後国と書いて、タニハノミチノシリノクニと読まれていました。奈良時代の初頭、和銅6年(713年)4月3日に朝廷の命により丹波国(タニハノクニ)の国府があった北部の加佐郡、与謝郡、丹波郡(後の中郡)、竹野郡、熊野郡の5郡を割いて、丹後国が置かれました。来る2013年は、丹後国建国から1300年の記念すべき年となります。このタイミングで、丹後を取り上げていたことが住民として大変嬉しく思っています。

今から25年前、故門脇権一教授が唱える丹後王国論も正確には、丹後国になる以前の大丹波王国の話と私は捉えています。この頃が最も丹後が輝いていたと思われ、浪漫を感じます。712年に古事記、720年に日本書紀が編纂された。丹後国が生まれた713年には、勅命により各地の国の風土記の編纂が始まったといわれます。丹後国風土記も逸文として残されています。またその一部は日本書紀にも書かれています。

雄略天皇 (AD456-479)

垂仁紀から4世紀下った第21代雄略天皇までの間、丹後(丹波)に関する記載はありません。日本書紀によりますと、雄略22年丹後国風土記に出てくる伊根・宇良神社、網野・嶋見神社の「祭神、丹波国、与謝の浦嶋子伝説」とも書かれています。記紀により、第9代開化天皇、第10代崇神天皇、第11代垂仁天皇の条では、丹後(当時タニハノミチノシリノクニ)と記されています。

崇神天皇 (BC97-30)

日子坐王は第10代崇神天皇と異母弟で、崇神天皇の命により舞鶴の青葉山を根城に悪事を働く鬼・土蜘蛛の首領「陸耳御立」を討伐した。と記紀に記され、青葉山から由良、大江町河守から大山に追いつめ退治する物語が丹後風土記に「由良神宮儀式帳」により詳しく書かれています。枕に天照大神がお立ちになります。竹野神社以外にも日子坐王を祀る神社は現在の丹波比治の郷、比沼麻奈為に

開化天皇 (BC158-98)

若狭根日子大毘古命(「開化天皇」、春日の伊弉川宮に坐して天の下治めらしめし此の天皇丹波の大県主名は由基理の女丹波竹野媛を娶らして、産みませる皇子比古由牟須美命云々と古事記にみられます。

地方の豪族を単に県主、その豪族達を束ねる首長のことを大県主というそうです。当時の畿内では奈良南東部一帯を磯城郡といひ、丹波と同じ大県主を名乗っていたと、丹波は紛れ

古墳、加悦・蛭子山古墳と並び丹後3大古墳と呼ばれ、日本海側では最大級の全長190mの前方後円墳古墳です。そして日子坐王の子で四

垂仁天皇 (BC29-AD70)

垂仁天皇に關しては、側近の家来、田道間守が常世の国から不老不死の果実、非時香菓(橘)を持ち帰った所が、現在の木津(橋立)として網野町に伝わっています。地名網野の由来も「白鳥伝説」として垂仁天皇時代の話として伝えられています。

門脇教授によれば、四世紀中ごろから六世紀初頭まで五世紀中の100年間に丹波(丹波)から伊勢の最盛期と捉えられると述べています。飛鳥時代には朝廷の地方制圧がすすみ、地方豪族も順次その支配下となり中央集権体制が確立しつつ地方独自の政治・文化も衰退していったと考えられます。

籠神社・海部氏系図

丹後には正史とは違っても一つの丹後王国があったことを忘れてはいけないと思います。丹後にはもう一つの天孫降臨が伝えられています。それは国宝海部氏系図及び海部氏勳注系図に記載された日本最古の系図といわれ、籠神社主祭神「彦火明命」で海部氏の始祖として82代現皇司・海部光彦氏まで2000年以上の血脈を誇ります。この彦火明命は別名天孫「ニギハヤヒノミコト」といわれ、記紀の神代系図からその後の記載がないものの、丹波・丹後の国造の祖とされています。

用明天皇・推古天皇

これも記紀の記録はありませんが、さらに時代は下って、第31代用明天皇32代崇峻天皇、33代推古天皇の時代の伝承として、間太子の生母・穴穂部間人皇の丹後疎開説話として、聖徳太子異母弟・麻呂子親王鬼退治物語と七仏薬師(寺)建立伝説が伝えられています。

丹後ちりめんの隆盛

そしてこの丹後王国の時代以降も、丹後が丹後らしく輝いた時代があります。それは、絹織物です。1200年前、聖武天皇にありしが献上され、現在も正倉院御物として保存されています。また、享保5年

当時の丹波の王(豪族)の系譜を考える時ユゴリノタカノヒメノヒコユムスミノタニワチノミヤノミカドワケの5世代と考えたほうが自然であるといわれています。ヒコユムスミというのは後に作られた特別の神格化された呼称だと教授は言い、ヒコユムスミとヒコユムスミ同

一説を唱えており、そうだとすれば竹野神社に祀る祭神達も領けず。

(1720年に福屋佐平治(後の森田次郎兵衛)によって京都西陣からちりめん製の技法がもたらされ、丹後ちりめんの一大産地を形成しました。その後浮き沈み成りました。その後浮き沈み成りました。その後浮き沈み成りました。



(上)元伊勢籠神社、(下)宇良神社



久保 善康氏

丹後観光口コミ大使語り部の会代表
京都銀行退社後、(株)道の駅「てんきてんき丹後」開発準備室長(=初代室長)、民間製菓会社「お菓子司あん」立上、NPO法人「全国まちづくりサポートセンター丹後支所」地域ガイド丹後塾長、丹後観光口コミ大使、京都丹後ふるさと検定実行委員等を経て、2011年丹後観光口コミ大使「たんご語り部の会」発足、代表





谷口 謙氏
(北丹医師会)

「ここからは、先生方に丹後の医療の移り変わりについてうかがいます。」

吉岡 私が開業した当時は、虫垂炎が多く、当直した一晩に2、3例あったこともあり、外科の先生を起すのが気の毒なくらいです。実際には胆のう結石や尿道結石の方もおられたのでしたが、みんな回虫症と一緒に患っていました。

笹野 後から考えると、最近、昔の資料を整理していたら、麻薬の数量届けの控えが出てきました。あの時期、ものすごい量の麻薬を使っていたんです。

谷口 それは私も同じです。

岩根 とにかく痛みを止めるために、よく使っていた時期がありました。

吉岡 昭和34年の開業当初、年間36アンプルだったのが、昭和38年には132アンプルに増えています。

「私が聞いたのは1本5000円でしたよ。」

谷口 私は吉岡先生より半年早いから1万円だったんですよ。急速に値段が下っていきましたから。

吉岡 結核予防法ができて使えるようになったとき

る業種といえば機械金属くらいです。そんな中で、これからの若い人たちがどんどん育つような土壌をこの丹後でつくっていかねければならないと思っています。

京丹後市は現在、「健康長寿の郷」づくりに取り組んでいます。市内には男性長寿世界一の114歳になる木村次郎衛門さんがおら



吉岡 均二氏
(与謝医師会)

れ、名誉市民第1号になられていました。

世の国から持ち帰ったといわれています。私の近所の丹後町乗原には、人魚の肉を食べて800年生きたという八百比丘尼伝説があります。伊根町新井には、古代中国から徐福が不老不死の仙薬を求めて辿り着いたといわれています。網野町木津には、垂仁天皇の家来である但馬守が非時集薬(不老不死の薬)を常



笹野 満氏
(北丹医師会)

は、1本1000円台にまでなっていたはずなんです。私は結核患者さんの往診で気胸の処置をしたことがありません。当時、往診先では気胸だけでなく、輸血、ルンバールもしていました。

岩根 私も往診先でアツペの手術をしたことがありました。

一同 えーっ。

岩根 できたよ(笑)。

吉岡 昭和28年頃だったかな。

吉岡 しかし、今振り返るとそんなことをよく往診先でやったものだと思いますね。

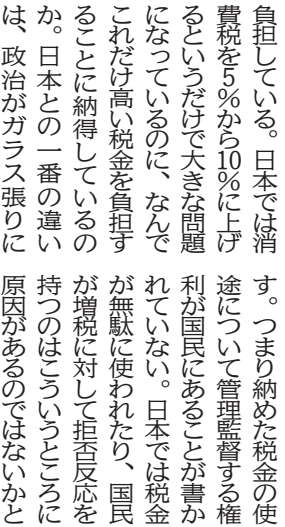
美浜町はすでに自前の病院を持っていたので計画から抜けた。残ったのが大宮、峰山、網野、丹後町ですが、丹後町は医師数が少ないからできない。網野は当時数が多かった。網野町だけが

岩根 官津市では、休日に行ける医院が市内に一つもないというのは市民に対して申し訳ないというところで、他に先駆けて市独自で始めたんです。内科が昭和40年、外科が昭和43年から。与謝3町ではそれから5年遅れて昭和45年から始まりました。他の自治体からもいい制度だと評価され、正月休みなどの前には、今の京丹後市の職員が名刺を持ってやって来て

2010年10月に経ヶ岬鳥取・白鬼海岸までの10kmが山陰海岸ジオパークとしてユネスコ世界ジオパークに加盟認定されました。国内4番目の認定です。学術的に価値の高い地形地質を有し、観光だけで

なく様々な方面に活用することを目的とします。保存に重きを置く世界遺産とは少し趣が異なります。しかしながら、その呼び名も馴染みがなく都市部に住む人たちはまだまだ認知度も低く関心も薄いのが現状です。

少しずつメディアでも取り上げられるようになり



岩根 敏男氏
(与謝医師会)

「谷口先生は府内最高齢の警察医といわれていますが、それは次の手がかうと、署の人は岩根先生が

吉岡 しかし、当時の府医師会の会長が「好きなことを使ってください」と受け取ってくださったらい。

岩根 言ってきたので受け取ったら、翌年監督があつて、補助金は使途は厳格に定められている。一般会計に入れてはならないと指摘され返

「谷口先生は府内最高齢の警察医になりましたが、それは次の手がかうと、署の人は岩根先生が

岩根 当時、警察医はど

「谷口」この地方のことが正史から消えていくのは推古天皇時代からですか。大和朝廷に対する対抗勢力だったことで正史から抹殺されたのではないかと推測の奥地という意味です。

久保 「丹後国」というの

「谷口」そうですね。私は70歳で警察医になりましたが、初めての仕事をしたとき、要領がわからないと言った。署の人は岩根先生が

岩根 当時、警察医はど

「谷口」そうですね。私は70歳で警察医になりましたが、初めての仕事をしたとき、要領がわからないと言った。署の人は岩根先生が

岩根 当時、警察医はど

「谷口」そうですね。私は70歳で警察医になりましたが、初めての仕事をしたとき、要領がわからないと言った。署の人は岩根先生が

岩根 当時、警察医はど

「谷口」そうですね。私は70歳で警察医になりましたが、初めての仕事をしたとき、要領がわからないと言った。署の人は岩根先生が

岩根 当時、警察医はど

医師不足問題に対策はあるか

吉岡 これからの丹後の状態を我慢しなければならぬ問題です。私は老健施設を持ってますが、医師の確保にもすごく苦労しています。医師を確保できないと、老健施設をやめなければなりません。薬剤師やPT、OTの確保も難しい。京都では京大と府立医大で医師を養成していますが、国立大学なので、国公立大学なので、床研修制度が導入され、その結果、医師不足が北部にも回すようにする問題が深刻化しました。田舎の住民は税金を払ってながら無医村の講座制度には功罪があった

ことほたしかですが、これ教授が医局員を適当に各地の病院に回転させていたわけですが、しかし、臨床研修制度になると、研修医はたいがいが都会の大きな病院に2年間行くようになってしまっています。いったん大学の外に出た研修医は、その後大学の医局に戻るケースは少なくなりまして、明日からこの病院に行くと田舎に行くとか命令



ジオパーク丹後松島【日の出】(久保善康氏撮影)

できる状況ではなくなっています。私はこの制度が始まるまで、医師会を通じてたいへんなことになるから反対するよう主張していたのですが、予想通りの結果になり残念です。

岩根 医師不足が深刻化するのには目に見えていた。講座制をやっていたときは、今後の研究のことを考えると、教授の命令に従わざるを得ない状況がありましたからね。それがなくなりました。

吉岡 しかし、憲法25条には「国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。国は、すべての生活面について、社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない」とあるでしょう。地方の医療の現状はこれに反しています。

岩根 医師不足により医療過疎に憂慮して府や関係機関に働きかけることは重要ですね。こういったことは以前から指摘されていたことです。この数年で状況が変わったことについては、ドクターヘリが導入されたことでしょうか。京都府、兵庫県、鳥取県という広範囲な需要がある程度対応できているようになりました。しかし、医師の数が少ない状況には変わりありません。

吉岡 日本はおとなしい。大震災に遭ってもおとなしいものですか、そのことが外国で称賛されていますが、外国だったら暴動が起るんじゃないかなとも思っています。丹後の住民は「医師よこせ」ともいっていると思いますよ。

新年 谷口 謙 (北丹)

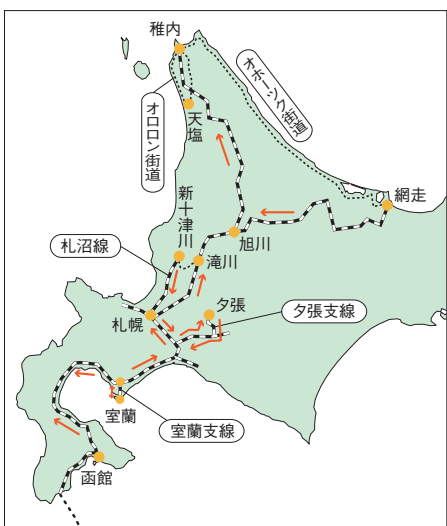
詩を書こうと思いついた詩が書けるのなら
おまえはいくらでも詩を書きなさい
淋しいとか
つれないとか
独り泣いて詩が作れるのなら
新しい世界が開くのなら
うら悲しい世が慰められるのなら
紅葉は色褪せて来た
鈴なりの袖子の灌木
堀ぎわに一本立っている
去年は不作だったか
今年も豊作
緑と黄 鈴なりだ
刺にさされながら
実をよじると
大きな息を吐く
また新しい年が来て
おまえは何か淋しがるか
新年とはどんな年
新しい年とは苦しいか
いや新しい年にも書いていこう
雑念を払い捨て
新しい詩をためてみよう
たしかに無謀だが
新しい澄んだ詩を

北海道JR全線完乗!! のおまけは オホーツク街道ひたすら南下のドライブ

日本ローカル鉄道の旅 その11

北小路 博央 (北)

何度もうり返すよつだが
日本全国のJR線、第3セクター完乗が私の夢である。乗り残している路線は1〜5線中25線、年齢的にも体調的にもいささか急が



ねはなるまい。というわけ
で平成23年10月下旬、北海道の未乗3線を完乗すべく往復鉄道で行くという北海道旅行を強行した。

出発
このハードでマニアックな旅の仲間は私のほか3人、つれあいの鉄子さんと、がんがんの鉄ちゃんさん、ある甥っ子のS君に北海道往復鉄道の旅とはどんなものかと好奇心満々のA氏(70歳)が同行することになった。

いよいよローカル線の旅
出発3日目、旭川を早朝の出発の1日1回の稚内行き

鈍行に乗り込む。約6時間乗り放しの長丁場である。戦前のダイヤで北海道最長の鈍行は函館-根室間24時間34分であったことを思えば軽いもの、屋敷に着いた稚内では冷たい小雨と強風が4人を待っていた。

オホーツク街道を走る
稚内からレンタカー(S君の運転)で天塩まで国道40号線を南下し、天塩川河口からオホーツク街道232号線を北上、小雨で利尻富士の全容が見えなかったの



(上)最果の駅・稚内、(下)始発駅は無人駅



は残念。日本最北の稚内温泉で旅の疲れをいやしたのはいよいよ、露天風呂の寒いのにびびり。

翌朝は宗谷岬から一路待望のオホーツク街道238



号線を網走まで快調に走りぬける。その夜は親子4人でやっている居酒屋をみつけてタラバガニで北海道の味を堪能。(S君は初めての土地で美味しい料理を出す居酒屋をみつける天才である。)

未乗ローカル線 その1
網走から滝川までは特急「オホーツク」を利用、滝川駅からタクシー10分の新十津川駅(掘立て小屋のような無人駅から)札沼線84.2kmに乗りこむ。ここを走るディーゼルカーは一輛で1日3便、乗客は我々4人だけ、札沼線はもと札幌から留萌線の石狩沼田につな

がっていたが、国鉄合理化で新十津川でちゃん切られてしまった。かえって赤字がふえた

未乗ローカル線 その3
夕張から南千歳までは直線の鈍行があり、南千歳で乗り換える特急「すずらん」が東室蘭から「室蘭支線」7・6kmを走って室蘭まで

待ち時間の間に室蘭湾の美しい夕景をめぐるサプライズもあり、名物駅弁「母恋めし」を買ったこともでき、東室蘭から乗った「寝台特急北斗星」のサロンでは乗り合わせた埼玉からのお兄さんと意気投合、楽しい夕食になった。「北斗星」は「日本海」とくらべて雰囲気も上々で、北海道往復鉄道の旅もすたものではないと、A氏の御機嫌もよかったです。

北海道JR全線完乗を果たして、残るは東北4、関東10、甲信越6、九州2の22線、来年中には全国JR線完乗を果たしたいものである。